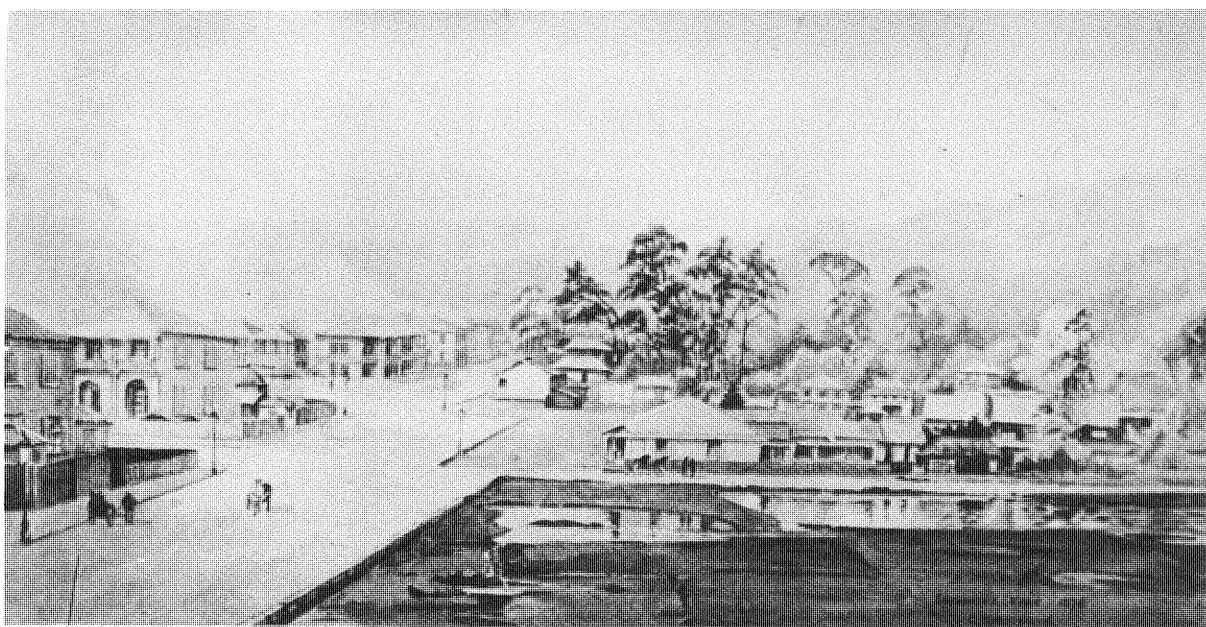


# 昔の三宮周辺

諏訪山からの眺め（明治二十年代）カラー写真の「諏訪山より三宮を望む」と同位置

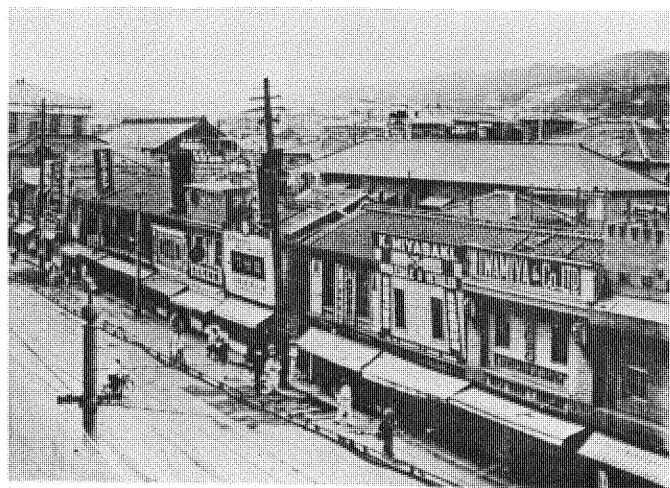




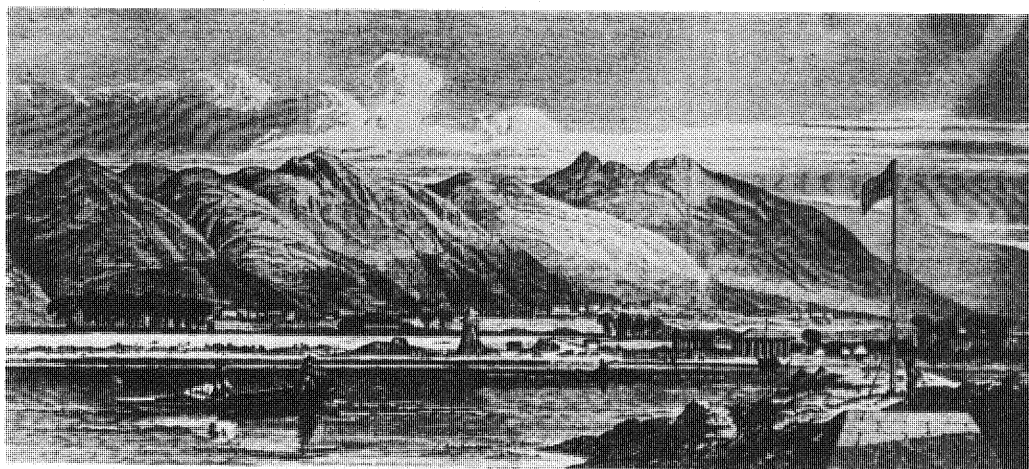
三宮神社の森を東方から見て英人バーナードが描いたもので、左側は出来て間もない居留地の洋館が並び、手前はまだ水田である。一八七八年(明治十一年)の年号とサイン入。



三宮町三丁目大丸前。永田岩見屋など、スベルで書かれた看板が上っている。河原霊社の道しるべが電柱の根元にあった。



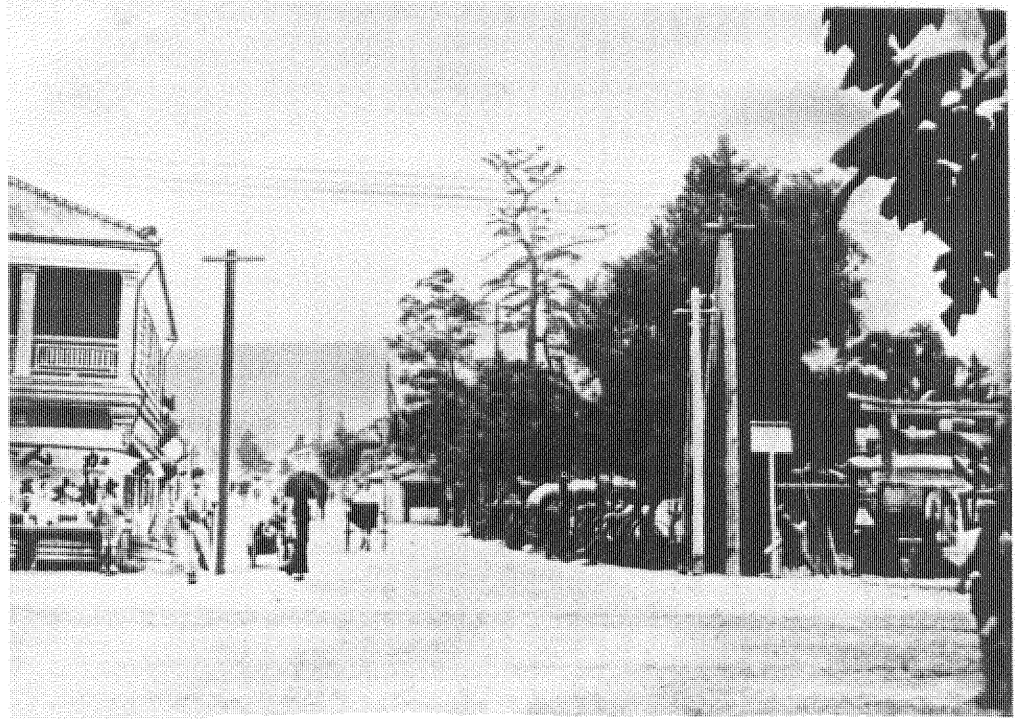
明治初年三宮町一丁目(現在大和証券の所)にあった勝海舟の海軍操練所寮は、後に湊山小学校へ移築して校舎に使われた。



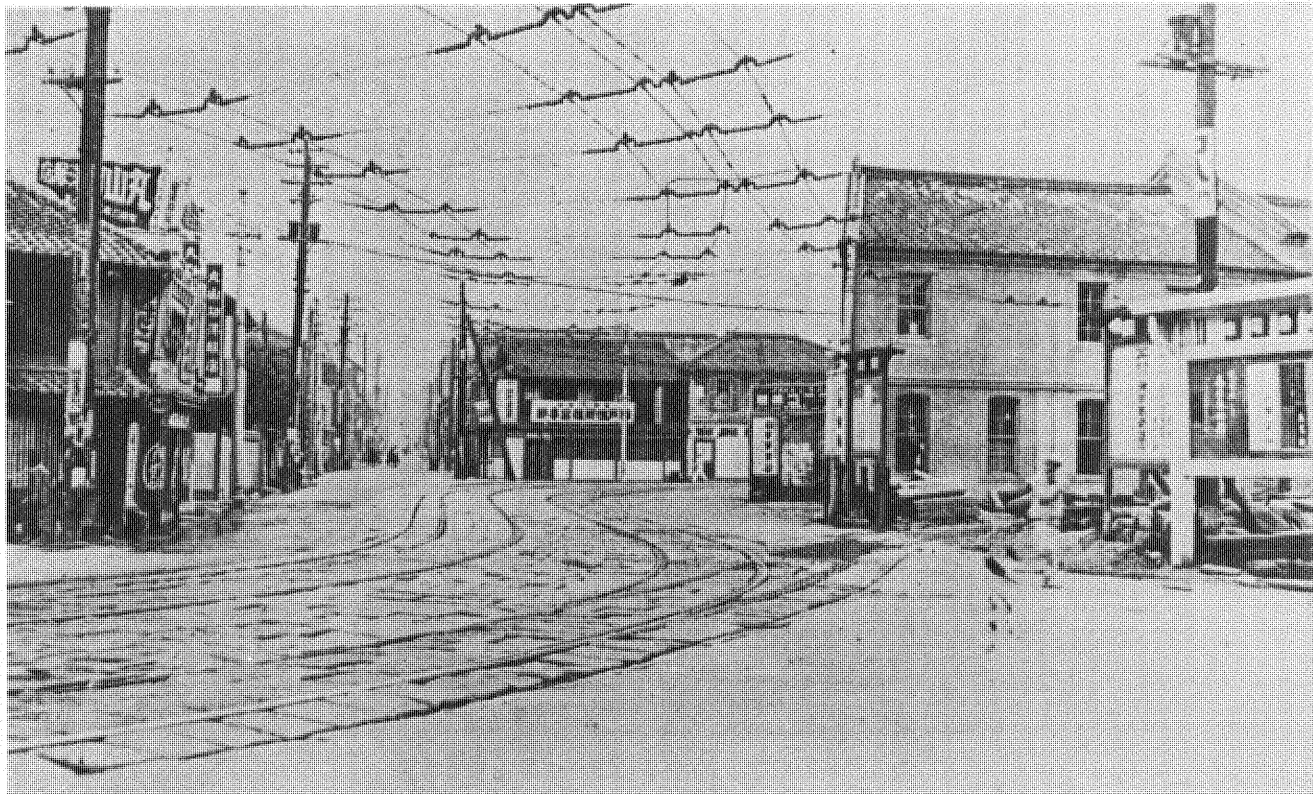
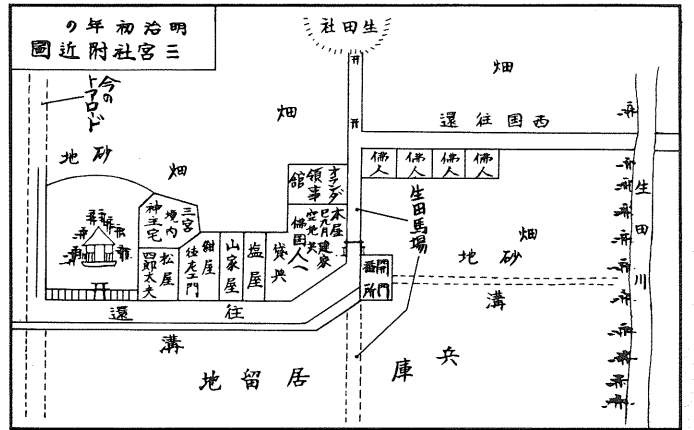
明治初年の神戸港。兵庫居留地の景と書かれている。英国旗の立っている所が当時の英国領事館所在地で、海軍操練所の舟入堀である(京都大学図書館蔵)

昔の三宮神社付近

明治三十年代のトアロード。昔三ノ宮筋と呼ばれたところで、山手に住む異人さんたちの居留地への通勤路として賑わった。  
 右手の森は三宮神社で客待ちの人力車が並んでいる。

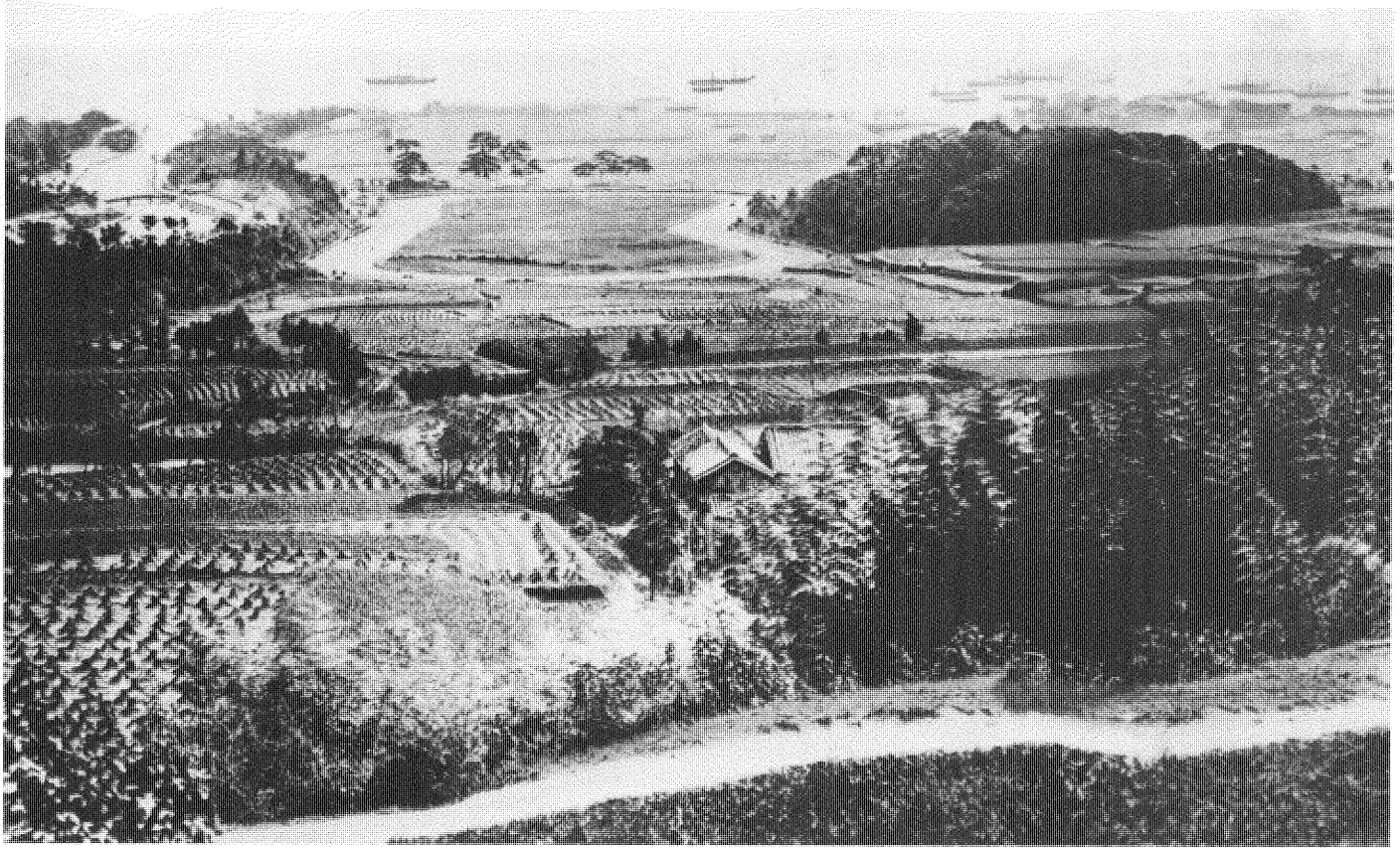


三宮神社から東へ望む。鉄柱は市電の架線。  
 右の図は明治初年の住居図で右上に西国往還とある所がセンター街一丁目に当たる。



三宮神社から生田筋へ曲がるところ。  
 右手は電気局、左手に丸山洋服店の看板が見え、上図の生田馬場に当たる。  
 (昭和四年写)





生田の森（明治二年砂子山から写す）中央のグラウンドは生田の馬場。松並木は西国街道で、現在の三宮センター街。



明治末頃に撮影された生田神社拝殿。



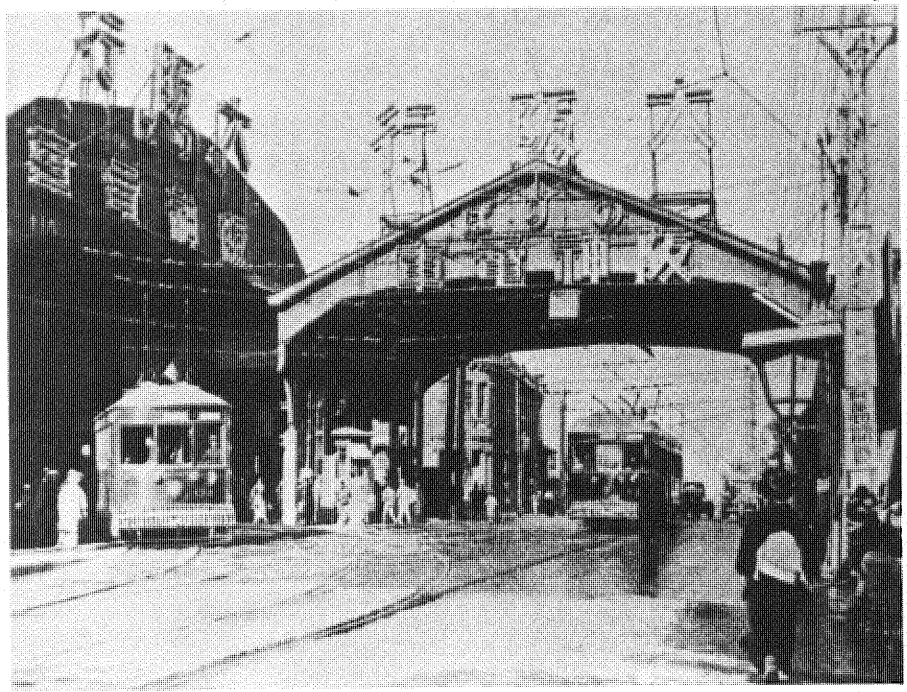
生田神社二の鳥居（国鉄高架山側のそばには大きな石灯籠が立っていた。（昭和四年）

昭和初年の滝道付近（現在フラワーロード）



鉄道高架基礎工事中の滝道踏切付近で、二二が現在の三宮駅となった。（昭和四年九月写）

昭和はじめの三宮滝道付近。阪神電車の終点は三宮滝道（現在フラワーロード）にあった。写真の右方は市電磯上線で、昭和十年十月、市電の国道線開通によって廃線となった。



三宮駅前で防空演習を行う（昭和十九年）



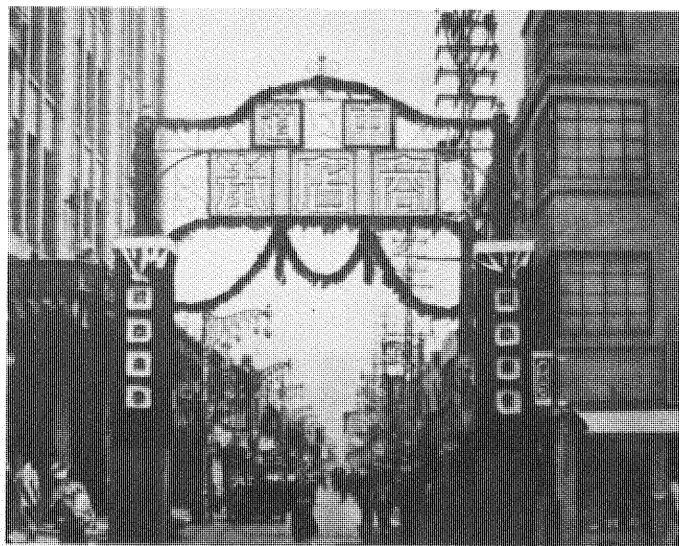
居留地の外人クラブ（現在の東遊園地）



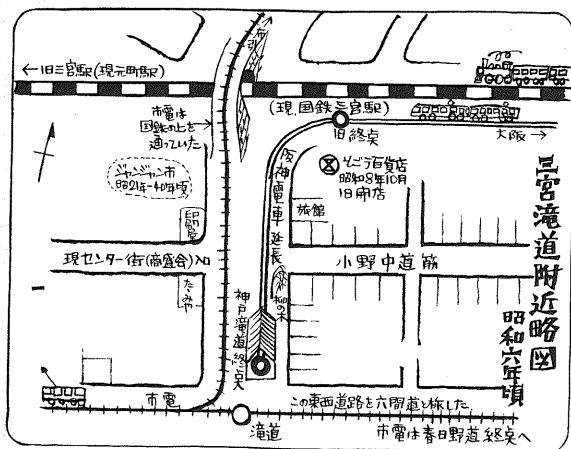
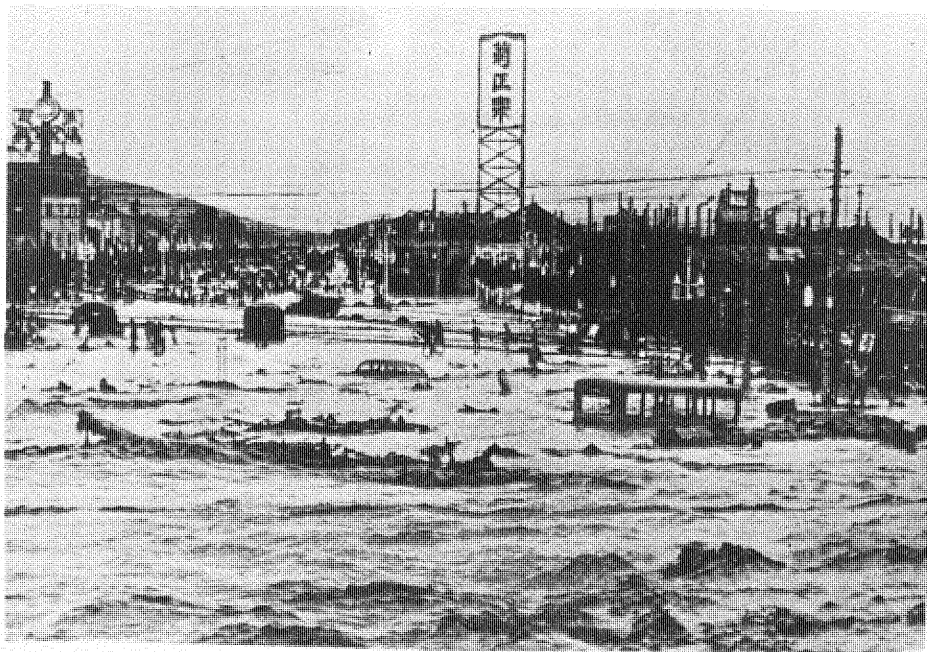
そごう三宮店が昭和八年十月一日  
現在地に開店した当時の周辺。



戦前ショッピングセン  
ターとして繁栄した小  
野中道商店街。神戸市  
商工祭の装飾が華やか  
にしてある。  
(昭和十一年五月)

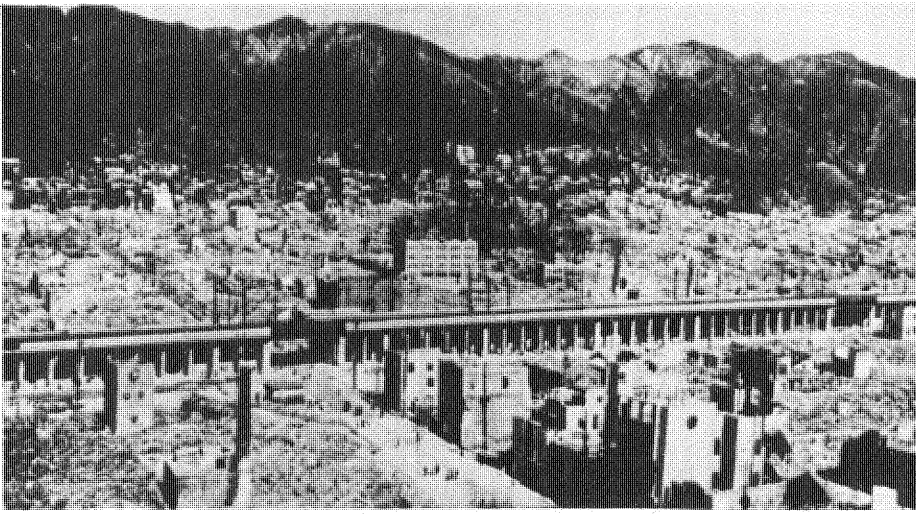


昭和十三年七月阪神大水害の惨  
状。家もバスも押し流された。

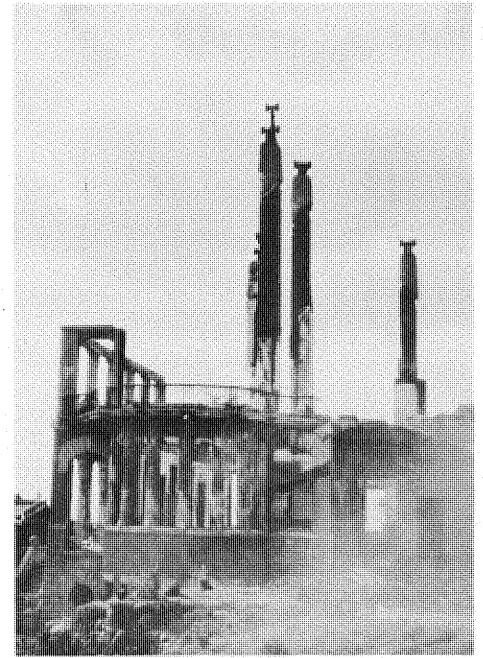




悲惨！昭和二十年大空襲



中央に横切るのは国鉄高架、斜に通っているのはトアロード。



骨組みだけを残した山手の教会。

昭和二十年六月五日の大空襲で焼野原と化した三宮センター街周辺。国鉄高架線路の左手が現在のセンター街一帯。(そこから上空より西を望む)



楠の大樹も燃えてしまった生田神社。百度石だけが健在。